



ユーザーマニュアル

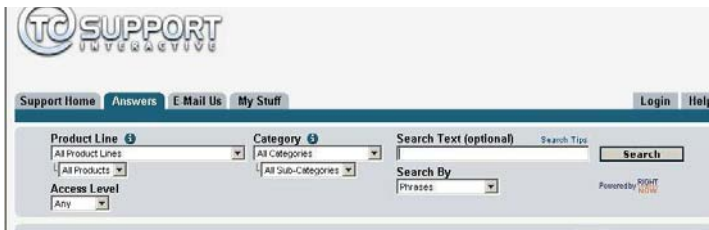
TC Chorus•Delay for PowerCore

サポート連絡先

TC SUPPORT INTERACTIVE

TC Support Interactive (www.tcsupport.tc) は、オンラインのサポート及び情報提供のためのウェブサイトです。TC Support Interactive では、TC ソフトウェア／ハードウェア製品に関する一般的な質問の解答を、製品／カテゴリ／キーワード／フレーズから検索可能です。一度サイトで登録を行ってログインすれば、「My Stuff」セクションから、質問の状況を調べたり、製品マニュアル／ソフトウェア・アップデート／プリセット等のダウンロードが行えます。

データベースはTC製品に関する最新の情報が満載です。お求めの情報がデータベースにない場合は、質問を提出することも可能です。この場合は、TCのテクニカル・サポートのスタッフが電子メールでご連絡させていただきます。



連絡先

また、インターネット以外でのお問い合わせにつきましては、各地域のTC支社または輸入代理店までご連絡ください。

TC ELECTRONIC A/S
Customer Support
Sindalsvej 34
Risskov DK-8240
Denmark

USA:
TC Electronic, Inc.
5706 Corsa Avenue, Suite 107
Westlake Village, CA 91362

www.tcelectronic.com

© BY TC ELECTRONIC A/S 2007. ALL PRODUCT AND COMPANY NAMES ARE TRADEMARKS OF THEIR RESPECTIVE OWNERS. VST IS A TRADEMARK OF STEINBERG AG, AUDIO UNITS IS A TRADEMARK OF APPLE COMPUTER, INC.

ALL SPECIFICATIONS SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.

ALL RIGHTS RESERVED. TC Electronic is a TC Group company.

サポート連絡先	2
目次	3
イントロダクション	4
一般情報	5
基本操作	6
CHORUS DELAY	7
プリセット管理	11

イントロダクション

Chorus/Delay は、TC Electronic の TC 1210 空間エクスパンダーをベースとしています。柔軟なルーティングとフィルター構成が特徴で、コーラスやフランジャーなどのモジュレーション効果からスラップ・ディレイまでの幅広いエフェクトを得られます。テンポ・ベースでの作業を行う場合に必需となる、ディレイタイムの BPM 指定にも対応しています。

動作環境

Windows

PowerCore ソフトウェア、バージョン 3.0 以降
Windows XP
PIII 1.4 GHz 以上
512 MB RAM
VST 対応ホスト・アプリケーション
ホスト・アプリケーションの動作条件を満たしたシステム

Macintosh

PowerCore ソフトウェア、バージョン 3.0 以降
Mac OS X (10.4 以上)
G4 / G5 / Intel 搭載機 (1 GHz 以上)
512 MB RAM
VST / AU / RTAS[®] 対応ホスト・アプリケーション
ホスト・アプリケーションの動作条件を満たしたシステム

※ RTAS (Pro Tools) の対応は、FXpansion 社によるサードパーティー製 VST-RTAS アダプター経由での動作となります。動作条件を含む詳細は www.tcsupport.tc をご参照ください。

はじめに

スクロール・ホイール対応

Windows XP / Mac OS X 共に、ホスト・アプリケーションが対応している場合は全てのパラメータをスクロール・ホイールから操作できます。マウスをパラメータの値フィールドの上に移動し、スクロール・ホイールを動かすと、パラメータの値を上下できます。

キーボード・ショートカット

多くのホスト・アプリケーションでは、次のキーボード・ショートカットが使用できます。次のショートカットは、全てのパラメータに有効です。

Mac OS X のショートカット

デフォルト復帰 = オプション

Windows のショートカット

デフォルト復帰 = シフト + コントロール

DSP 消費量

Chorus/Delay 一つあたりの DSP 消費量は次の通りです (PowerCore X8 / FireWire / Compact / Express / mkII / Unplugged)。

44.1 kHz 時

モノラル: 20%

ステレオ: 20%

48 kHz 時

モノラル: 22%

ステレオ: 22%

88.2 kHz 時

モノラル: 41%

ステレオ: 41%

96 kHz 時

モノラル: 45%

ステレオ: 45%

基本操作

詳しい説明に入る前に、Chorus/Delayの基本操作をご紹介します。

グループ化／グループ解除

特定のコントロールをグループ化またはグループ解除するには、シフト・キーを押したままマウスを上下に動かします。

リセット

コントロール・パラメータを初期値にリセットするには、オプション・キーを押しながら該当コントロールをクリックします。

ファイン・トリム

ファイン・トリム・モードで値をより細かく編集するには、コマンド・キーを押しながらマウスを動かします。

アクティブ・ディスプレイ

ディスプレイは全てアクティブです。ディスプレイ上でマウスをクリックしたままマウスを移動すると、パラメータの値が変化します。

数値入力

コントロール・パラメータをダブルクリックすることにより、数値を直接入力できます。入力後、リターン・キーを押して数値を確定します。

CHORUS DELAY

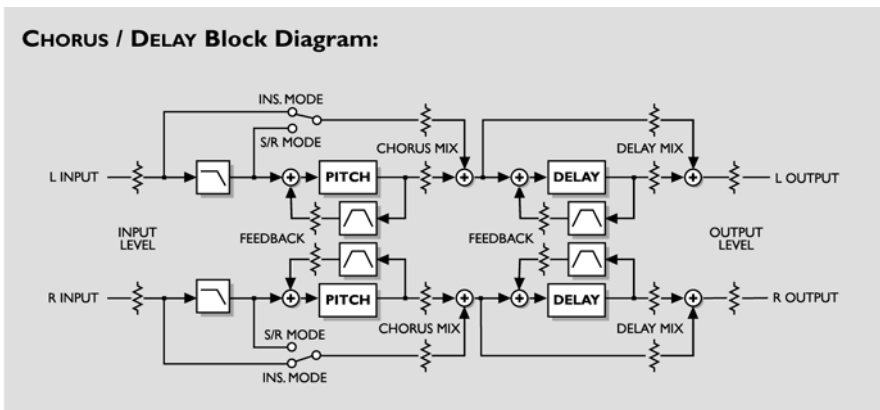
Chorus/Delay のアルゴリズム

Chorus/Delay では、アルゴリズムの構成を理解しやすく操作が行なえるように、セクションごとにパラメータが分かれています。



コーラス・アルゴリズムは極めてパワフルなモジュレーション・アルゴリズムで、ディレイ・ライン/充実した LFO セクション/2 系統のフィードバック・フィルターから構成されています。シンプルなコーラスから宇宙の彼方のきらめきまで、幅広いフィードバック・エフェクトを作ることができます。

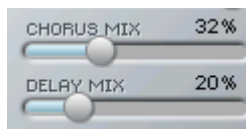
Chorus/Delay ブロック・ダイアグラム



CHORUS DELAY

MIX - ミックス

Delay Mix (ディレイ・ミックス) - コーラスにミックスされるディレイの量を指定します。



Chorus Mix (コーラス・ミックス) - ソース信号とピッチ・エフェクトのバランスを設定します。コーラス・エフェクトはソースとの相互作用でその効果があらわれるので、中間の設定で効果が強くなります。

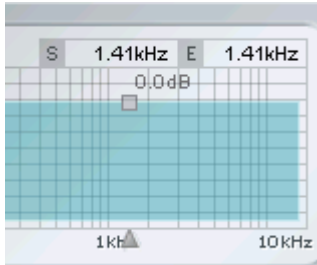


SEND/リターンのコンフィギュレーションでは、通常エフェクトのかかっていない信号は聴こえません。

HIGHCUT FILTER - ハイカット・フィルター

Chorus アルゴリズムの入力はローパス・フィルターで処理されます。コーラス効果の高周波数成分を制限することができます。

高域成分の多いコーラスは不自然で耳障りになることがあるため、通常コーラス成分はドライ信号よりも多少ダークになる色づけを行ないます。



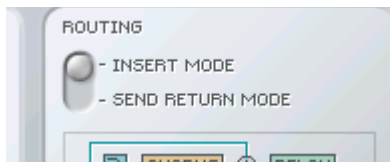
ディスプレイ上部には、「S」と「E」の2つの周波数表示が用意されています。「S」(Start - スタート) はハイカット・フィルターの始点で、フィルターのかかる最も低い周波数を指します。「E」(End - エンド) はフィルターの終点で、指定したアッテネーションに到達する周波数となります。

■ - Chorusの入力段における高周波数のダンピング量を指定します。フィルターの特性は6dB/octaveです。

▲ - アルゴリズムのインプット・フィルターのカットオフ周波数を指定します。ここで、コーラスとディレイのバンド・リミットを行ないません。

ROUTING - ルーティング

ハイカット・フィルターの動作をここで指定します。



CHORUS DELAY

Insert Mode - インサート・モード

インサート時に原音はChorusの出力からしか聴こえませんので、ダイレクト信号はフィルターされません。

Send/Return Mode - センド/リターン・モード

原音はすでにミックス内に含まれているため、ダイレクト信号にもフィルターが施されます。

CHORUS - コーラス

Chorusセクションは、ステレオのピッチ・エフェクトを司ります。

コーラスは、信号にディレイを加え、そのディレイ成分をLFO（低周波数発振器）で変調することにより特徴的なダブリング効果を得られるエフェクトです。フィードバック機能を使ってコーラスの施された信号を再度入力に循環させることにより、その効果を強調できます。



Chorusの入力にフィードバックされる周波数帯域を指定します。シフト・キーを押さえると、ハイとローカットの周波数がグループ化されます。

LFO Phase (LFO フェーズ) は左右チャンネルの位相関係を指定します。 0° では各チャンネルが同じ変調を行ない、 180° では左右チャンネルが逆相となります。

基本的なディレイ・タイムです。LFOによるディレイ・タイムの変調は、この設定値に対して行なわれます。

CHORUS DELAY

モジュレーション・グラフ

画面左上のグラフは、コーラスのスピードとデプスの関係を表示します。デプスを上げるとグラフのアンプリチュードも大きくなり、スピードを上げるとグラフの回転時間が短くなります。

ディレイ

フランジャー効果を得るには、短めのディレイ・タイムと高めのフィードバックを使用します。一般的なコーラス効果には、より長めのディレイ・タイムと低いフィードバックを使用します。

Golden Curve - ゴールデン・カーブ

コーラスのスピードかデプスを調節した際にもう片方を自動的に特定の比率で下げ、聴感上のエフェクトの強さを一定に保ちます。

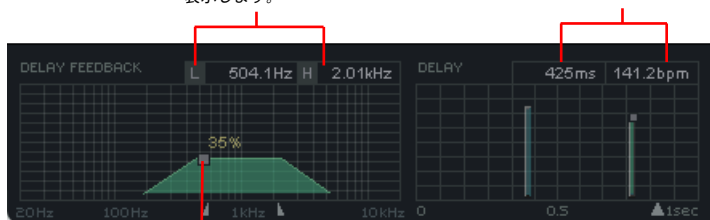
ディレイ

Chorusのディレイはモノラル・ディレイ・ラインで、シグナル・バス上コーラスの後に配置されています。

ディレイ・タイムの設定レンジは0～500 msです。ディレイ・グラフは、反復成分の時間軸とレベルを表示します。

ディレイのインプットにフィードバックされる周波数レンジを表示します。

ディレイ・タイムは、msまたはbpmで指定できます。



フィードバック量を指定します。

プリセット管理

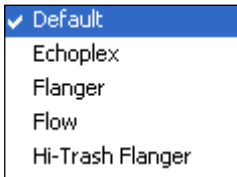
はじめに

通常はPowerCoreのファイル管理システムを使用することをお勧めいたします。PowerCoreのファイル管理システムは、プリセットのリコール（呼び出し）／ストア（保存）／コンペア（比較）機能に加え、他のホスト・アプリケーションやプラットフォームを使用している環境との間でもプリセットの交換が簡単に行える利点を持ちます。



File - ファイル

Fileをクリックすると、ファイル・メニューが開きます。



Load Preset (ロード・プリセット) - デフォルト・プリセットをロードします。

Save Preset (セーブ・プリセット) - My Presets フォルダにプリセットを保存します。

My Presets (マイ・プリセット) - 独自に作成したプリセットをロードすることができます。



プリセットを My Presets フォルダ以外の場所に保存した場合、それらのプリセットは My Presets ドロップダウン・メニューに表示されません。その場合は、Load Preset 機能でロードするプリセットの場所を指定できます。

Preset Name - プリセット名

プリセット名です。

Up / Down - アップ / ダウン

上下矢印でプリセットを順番に切り替えることができます。

プリセット管理

A/B

A/B 比較機能で、二つの設定を比較しながら作業を進めることができます。

プリセットの操作をはじめた段階では、A/B ボタンは灰色で表示されます。この状態は、A と B の内容は同一で、比較を行なう内容がないことを示します。

パラメータを一つでも変更すると、メモリー「A」がアクティブとなります。パラメータの変更内容は全て「A」に反映されます。「B」に変更すると、始点に戻り、そこからの変更は全て「B」に反映されます。A/B ボタンを押すごとに、この二つの状態が切り替わります。



A/B メモリーは、あくまでも一時的な設定の保存場所です。プリセットの保存は、現在選択されているメモリー場所のみを保存します。他の（隠れた）メモリー場所の設定は、保存されません。

Reset - リセット

Reset ボタンを押すとメモリーがクリアされ、プリセットがリコールされた元の状態に戻ります。

デフォルト・プリセットの保存場所

デフォルト・プリセットは、それぞれのプラグイン固有のフォルダに保存されます。

Mac OS X

ファクトリー・プリセット

<Macintosh HD>/ライブラリ/Application Support/TC Electronic< プラグイン名 >/Presets/

ユーザー・プリセット

/Users/< ユーザ名 >/ライブラリ/Application Support/TC Electronic< プラグイン名 >/Presets/

Windows

ファクトリー・プリセット

C:\Program Files\TC Electronic< プラグイン名 >\Presets

ユーザー・プリセット

C:\Documents and Settings< ユーザ名 >\My Documents\TC Electronic< プラグイン名 >\Presets

- プリセットを消去するには、ゴミ箱に移動します。
- プラグイン・メニューでサブフォルダが表示される様にするには、プラグインのデフォルト・プリセットの保存場所にある PRESETS フォルダ内に新しいフォルダを作成します。



フォルダ内に最低一つのプリセットが含まれていないと、フォルダはプリセット・ファイル・メニューに表示されません。